

令和5年度第3回函館方面森警察署協議会議事概要

1 開催日時・場所

- ・ 令和5年12月4日（月）午後1時30分から午後3時00分までの間
- ・ 函館方面森警察署 会議室

2 出席者

(1) 協議会委員 5名（定員6名）

- ・ 副会長 高橋 恵子
- ・ 委員 川村 昌代
- ・ 委員 根本 あけみ
- ・ 委員 瀧澤 静
- ・ 委員 小森 昭彦

(2) 森警察署員 5名

- ・ 署長 馬場 恵吾
- ・ 副署長 佐々木 茂
- ・ 刑事生活安全課長 小澤 豪
- ・ 地域交通課長 和泉 慎太郎
- ・ 警備課長 渡邊 一弘

3 協議会副会長挨拶

4 警察署長挨拶

5 警察署長による警察活動の概況説明

署長から令和5年10月末現在の刑法犯認知・検挙状況、交通事故発生状況、警察相談受理状況等について説明があった。

6 協議事項

(1) 令和5年度第2回森警察署協議会の意見等に対する取組状況報告

刑事生活安全課長から、前回協議会の諮問事項である刑事警察の活動（窃盗事犯の防犯対策）への意見に対する取組状況について説明があった。

ア 刑事生活安全課長からの説明

前回の協議会を通じて、各委員は

「窃盗被害は他人事ではなく、いつ被害に遭うかわからない。

有効な防犯対策については広く周知し、住民の防犯意識を高めるべき。」

などと共通認識を持っておられると理解しました。

そのため当署では、協議会終了後、刑事係と地域係が連携して、交番・駐在所速報3枚を作成し、順次管内の町民の方に配布いたしました。

交番・駐在所速報の一つ目は、住宅侵入と車上ねらいの被害防止ポイントをまとめたもの。

二つ目は、これからの時期に発生が増加する灯油盗難に関するもの。

三つ目は、他署管内で車上ねらいの連続発生があったため、当署管内での被害防止の注意喚起を記したものとなります。

いずれの交番・駐在所速報も、各種警察活動を通じて住民の方に配布したとともに、当署ホームページにも掲載して広報を実施しました。

当署として、引き続き住民の犯罪被害防止に万全を期してまいります。

イ 本回答を受けて委員からの意見

- ・ 委員～ 配布された交番・駐在所速報は、見やすくとてもわかりやすいものです。

是非、職場に掲示するなどして同僚や来訪者にも見てもらいたいので、職場に掲示してよろしいか。

- ・ 刑生課長～ 構いません。是非、掲示して広く周知して下さい。
- ・ 委員～ この交番・駐在所速報の作成月日を見たところ、前回協議会終了後から間もなく作成したものとわかり、対応がとても早いと感心しました。
これからも、タイムリーな情報提供をお願いしたい。
- ・ 刑生課長～ 今後も、社会情勢に的確に対応した未然防止策に関する情報発信を実施してまいります。

(2) 諮問事項

ア 刑事生活安全課長からの説明

刑事生活安全課長から、本協議会における協議事項である「生活安全 特殊詐欺対策」に関し、映像と資料を使用して説明があった。

イ 諮問事項に関する質疑応答等

- ・ 委員 普段、自分は騙されないと思っていたものの、この様に資料を見たり説明を受ければ、騙されないと思っている自分が騙されるリスクが高いと知った。
注意すべき点を的確に教えてもらい、改めて自分自身、家族、友達にも教えて被害防止に努めていきたいし、今日の事を活用していきたい。
- ・ 委員 ネット販売で買物をしたが、商品が届かないという事が身近なところで起きていて、こんな事が本当にあるんだと実感していた。
普段ネット利用している人が注意しているつもりでも、本物そっくりの画面であれば騙されてしまうと感じた。
また、投資関係などに関しても、画面そのものが偽物と区別がつかないし、儲かるという言葉に乗せられてしまい注意しているつもりでも騙されてしまうのが現状なのだろうと感じた。
- ・ 委員 映像資料で特殊詐欺には実にたくさんの手口があるものだと思いながら拝見させてもらった。
以前、騙されて偽物の商品を買ったという人の話を聞いたことがあるが、今の時代は昔以上にうまい話はないと思っている。
騙された話をニュースや新聞などで見ることもあるが、どうしたら騙されるのかと思いながら見ているが、自分も今後十分気を付けるべきだと思った。
- ・ 委員 N T Tファイナンスを騙るショートメッセージが出回っているが、実際にやりとりした場合は、相手は相当言葉巧みに話しかけてくるらしい。
映像資料にもあったが、相手は騙しのプロだと紹介されており、改めて騙しのテクニックがあるのだと思った。
また、テレビで放送していたがA Iの発達が著しく、声を作ることもできるらしく、ある人物の声を少しだけ録音しただけで、文章を喋れるようにすることができるらしい。
A Iを育てていくことで人間が話すように流ちょうに喋らせることもできる様で、悪用された場合に逆に恐ろしいと感じた。
警察は、A Iに対する対応などに関して何か行っているのでしょうか。
- ・ 刑生課長 多分同じ番組を見ていたと思いますが、やはり悪用されたら怖いと思います。
ただ、現時点、警察ではA Iへの対応は特段行っておりませんが、今後は情勢に応じて対応していくことになると思われます。
- ・ 委員 自分も周りも騙されたという話は無い。
しかし、いつ騙しが自分たちに降りかかってくるか分からないし、上手く切り抜けることができるか心配になるが、今日の説明などを良く理解して冷静に対応していけたらと思う。
- ・ 署長 サイバー空間における犯罪は広域にわたることが多いが、都道府県をまたぐ広域捜査への協力は当然行っているほか、世界的にサイバー犯罪を行っていた組織に対し、フランスやアメリカ等との国際共同捜査に日本も参加し、ウイルスのプログラムの開発者とみられる男を逮捕した実

績もありますので、今後はこういったネット環境を利用して海外で行われる詐欺をはじめとするサイバー犯罪などに関しても捜査力を強めていくことになると思われます。

7 次回諮問事項

警察署の方から『災害対策の取組』についてとの提案を受け、委員間で協議した結果、次回の諮問事項は『災害対策の取組』に決定した。

また、委員から『熊対策』についても意見が出たので、併せて『熊対策』についても協議することとした。

8 留置施設見学

第2回警察署協議会に欠席した委員が、留置施設内の各部屋、装備、設備などについて見学し、説明を受けた。

9 夜光反射材の有効性体験

日没が早くなり、住民の活動が多い時間帯とドライバーから歩行者が見えにくくなる薄暮時間帯が重なるため、交通事故が増加する傾向にあることから

『専用ゴーグルを使用した夜光反射材の視認性』
について体験してその有効性を確認した。

10 次回開催予定

令和6年2月頃で調整していく予定。